

令和2年第4回（12月）山陽小野田市議会定例会

陳情・要望書配付表

受 理 年 月 日	件 名	要望の主旨	要望者の住所及び氏名	調査委員会
令和2年 9月15日	令和3年度理科教育設備整備費等補助金予算計上について のお願い	別添陳情・要望書 写しのとおり	千代田区神田小川町3-28 昇龍館ビル4F 公益社団法人日本理科教育振興協会 会長 大久保 昇	総務文教常任委員会

議長が受理した陳情・要望書の写しを配付します。

令和2年9月7日

都道府県議会議長 様
市区町村議会議長 様

千代田区神田小川町 3-28 昇龍館ビル
公益社団法人 日本理科教育振興協会
会長 大久保

令和3年度 理科教育設備整備費等補助金予算計上についてのお願い

すでに、小学校・中学校・高等学校ともに、新学習指導要領が告知されました。理科教育においては、益々、観察・実験が重視され、今回初めて、学習指導要領の中で小中共に、『環境整備に十分配慮すること』という一文が加えられました。観察・実験重視の視点から、これが十分実施できる理科教育環境整備に対する対応が重要であることが論じられています。

当協会の調査においても、小中高等学校の理科教育環境はまだまだ十分とは言えず、観察・実験の実践には、観察・実験設備器具の不足や老朽化、薬品や消耗材料の不足、実験準備・後片づけの時間など、現場の教師に係る負担が多い等の指摘が挙げられています。学校現場で最も困っていることとしては、8年連続、小中高ともに**観察・実験機器の不足**が挙げられています。

理科教育設備整備費等補助金事業は、小中高の観察・実験機器の整備拡充のための予算ですが、補助をうける団体が総事業費の半分を負担する事業となっています。故に、積極的に理科教育設備整備費等補助金を取り込み、観察実験機器の充実に着手されている自治体と、そうでない自治体との地域格差も生じています。

つきましては、理科教育環境向上のため、下記の事項にご配慮賜りたく要望いたします。

- 令和3年度 理科教育設備整備予算の計上をお願いします
(理科教育設備整備費等補助金事業への積極的な取組みをお願いします)
- 観察実験に伴う消耗品について、十分な予算措置をお願いします
- 理科観察実験が十分に行える理科室等の場所の確保にもご留意ください
- 実験支援員の配置にも十分にご留意をお願いします

貴自治体管轄の小・中・高等学校の理科教育環境はいかかでしょうか。理科教育について、充実した観察・実験授業を児童・生徒に体験させることができているのでしょうか。使用できない古い機器が、たくさん理科室に残っていませんか。消耗予算は足りていますか。実験するに際して、先生は準備や後片づけはできていますか。現状の理科教育について、貴自治体教育委員会にお尋ねください。

(今年度調査を踏まえ、別紙【「観察・実験」こそ理科教育の基本です】パンフをご参照ください)

貴自治体管轄の全ての小・中・高等学校 理科教育環境向上のため、積極的な予算措置をお願い申し上げます。



本件のお問合せ先

公益社団法人 日本理科教育振興協会 常務理事 石崎
〒100-0052 千代田区神田小川町 3-28 昇龍館ビル 4F
TEL: 03-3294-0715 E-mail: info@japse.or.jp